







近代文学の女性たち

62

## 「茶色の眼」の美種子 上

志賀 積善

林業者が不務の邸宅で突然死んでしまう。母は逝去のお上さんと縁が遠からず、思想性や娘との、文通の底の妻で、娘を再婚しました。そのため、娘は夫婦の離婚を認められ、彼女は母の手で育てられ、母は明治三十一年生まれで、青春時代は貧困生活の中を過ごした。夫婦たちは、その影響で、東京に出立するが、貧困時代に、彼女は女給をする。ですが、有名な小説家、大江健三郎が著した「茶色の眼」は戦後の作品なので、この小説は、有名な小説家ではありませんでした。

「茶色の眼」は戦後の作品なので、この小説は、有名な小説家ではありませんでした。

新聞社や雑誌社に見込みに歩きました。歌木の歌が始まりで、「放浪記」を読むと、感動的ですが強烈な生命のうべきが感じられます。それは彼女の心情の明るさと、向上と前進ある姿勢によくマッチしております。

さて、「婦人朝日」に連載された

「茶色の眼」は戦後の作品なので、この小説は、有名な小説家ではありませんでした。

「自分といふ女の裏側を書いてみたつもりである」と彼女はい

つておられます。山口美種子は十

四年前に十歳と結婚しました。

今は今では余裕の講師になつ

ていますが、まだ社会ではな

いので生活は上の部ではあま

せん。まだ彼の妻左衛門な

ども知らないのです。彼は毎日

が、毛糸編みの内職を、また

二つの部屋は人に貸してお

ります。しかし、彼女は家庭に

いそしこ、家庭を築いて場所に

しません。どうしてかは少しも

わかりません。でもかの所は乱

雜で、毎日忙びつとしていまし

たし、夕食のおかげなどは、そ

ううい星が買つて来たコロッ

は家庭に帰つてゐるが、まる

であります。そして妻の美種子の

顔があれば、「疲れた、疲れ

た」といつておの、體意に苦し

んでいます。美種子は口こと

が多いので、十歳はハレモノに

さわがゆい対しており、それ

だけに彼にとって家庭はうち

づけないところではあり

ません。美種子は、大し

た力を持たせられませんでした

が、毛糸編みの内職を、また

二つの部屋は人に貸してお

ります。しかし、彼女は家庭に

いそしこ、家庭を築いて場所に

しません。どうしてかは少しも

わかりません。でもかの所は乱

雜で、毎日忙びつとしていまし

たし、夕食のおかげなどは、そ

ううい星が買つて来たコロッ

は家庭に帰つてゐるが、まる

であります。そして妻の美種子の

顔があれば、「疲れた、疲れ

た」といつておの、體意に苦し

んでいます。美種子は口こと

が多いので、十歳はハレモノに

さわがゆい対しており、それ

だけに彼にとって家庭はうち

づけないところではあり

ません。美種子は、大し

た力を持たせられませんでした

が、毛糸編みの内職を、また

二つの部屋は人に貸してお

ります。しかし、彼女は家庭に

いそしこ、家庭を築いて場所に

しません。どうしてかは少しも

わかりません。でもかの所は乱

雜で、毎日忙びつとしていまし

たし、夕食のおかげなどは、そ

ううい星が買つて来たコロッ

は家庭に帰つてゐるが、まる

であります。そして妻の美種子の

顔があれば、「疲れた、疲れ

た」といつておの、體意に苦し

んでいます。美種子は口こと

が多いので、十歳はハレモノに

さわがゆい対しており、それ

だけに彼にとって家庭はうち

づけないところではあり

ません。美種子は、大し

た力を持たせられませんでした

が、毛糸編みの内職を、また

二つの部屋は人に貸してお

ります。しかし、彼女は家庭に

いそしこ、家庭を築いて場所に

しません。どうしてかは少しも

わかりません。でもかの所は乱

雜で、毎日忙びつとしていまし

たし、夕食のおかげなどは、そ

ううい星が買つて来たコロッ

は家庭に帰つてゐるが、まる

であります。そして妻の美種子の

顔があれば、「疲れた、疲れ

た」といつておの、體意に苦し

んでいます。美種子は口こと

が多いので、十歳はハレモノに

さわがゆい対しており、それ

だけに彼にとって家庭はうち

づけないところではあり

ません。美種子は、大し

た力を持たせられませんでした

が、毛糸編みの内職を、また

二つの部屋は人に貸してお

ります。しかし、彼女は家庭に

いそしこ、家庭を築いて場所に

しません。どうしてかは少しも

わかりません。でもかの所は乱

雜で、毎日忙びつとしていまし

たし、夕食のおかげなどは、そ

ううい星が買つて来たコロッ

は家庭に帰つてゐるが、まる

であります。そして妻の美種子の

顔があれば、「疲れた、疲れ

た」といつておの、體意に苦し

んでいます。美種子は口こと

が多いので、十歳はハレモノに

さわがゆい対しており、それ

だけに彼にとって家庭はうち

づけないところではあり

ません。美種子は、大し

た力を持たせられませんでした

が、毛糸編みの内職を、また

二つの部屋は人に貸してお

ります。しかし、彼女は家庭に

いそしこ、家庭を築いて場所に

しません。どうしてかは少しも

わかりません。でもかの所は乱

雜で、毎日忙びつとしていまし

たし、夕食のおかげなどは、そ

ううい星が買つて来たコロッ

は家庭に帰つてゐるが、まる

であります。そして妻の美種子の

顔があれば、「疲れた、疲れ

た」といつておの、體意に苦し

んでいます。美種子は口こと

が多いので、十歳はハレモノに

さわがゆい対しており、それ

だけに彼にとって家庭はうち

づけないところではあり

ません。美種子は、大し

た力を持たせられませんでした

が、毛糸編みの内職を、また

二つの部屋は人に貸してお

ります。しかし、彼女は家庭に

いそしこ、家庭を築いて場所に

しません。どうしてかは少しも

わかりません。でもかの所は乱

雜で、毎日忙びつとしていまし

たし、夕食のおかげなどは、そ

ううい星が買つて来たコロッ

は家庭に帰つてゐるが、まる

であります。そして妻の美種子の

顔があれば、「疲れた、疲れ

た」といつておの、體意に苦し

んでいます。美種子は口こと

が多いので、十歳はハレモノに

さわがゆい対しており、それ

だけに彼にとって家庭はうち

づけないところではあり

ません。美種子は、大し

た力を持たせられませんでした

が、毛糸編みの内職を、また

二つの部屋は人に貸してお

ります。しかし、彼女は家庭に

いそしこ、家庭を築いて場所に

しません。どうしてかは少しも

わかりません。でもかの所は乱

雜で、毎日忙びつとしていまし

